



# 『コウノトリが

# はこ 運んでくれたしあわせ』



フィリピン

カジ マリリン ナバーロさん

皆さんこんにちは。「コウノトリ」って知っていますか？私はある不思議な体験から「コウノトリ」のことを知りました。

今から約20年前のことです。私は一人で二階の部屋に寝ていました。その日の朝は鳥の囀りがいつになく強く、まるで大勢の人たちが歌っているかのように聴こえ、その声で私は目覚めました。カーテンの隙間から朝日が射し込み、とっても清々しい朝でした。

私はこの時「ああ、いい朝だな」と、幸せを感じていました。しばらくすると「カチャカチャ」と音がして、白い大きな鳥が爪でガラスをひっかきながら、部屋に入ろうとしていました！私はビックリしました！！何故なら、朝日の射している窓からではなく、この部屋の入口のドアの、曇りガラスをひっかいているからです。つまり、その白い大きな鳥はすでに家の中にいたのです！！

そのドアはガチャット…と開ければ、90度開き壁にあたります。その鳥を捕まえようと、ドアを開き壁に押さえたつもりでした。しかし、鳥は消えてしまったのです。家中を探しましたが、結局見つかりませんでした。

その日の夜、出張から帰った主人にこの話をしたところ、それはきっと「コウノトリ」に違いない！赤ちゃんはコウノトリが運んでくる…と言うからね。

その後、子供を二人授かりました。私は授かった事をコウノトリに感謝しています。何故なら、病院で私は子供が出来にくい身体だと言われていました。

コウノトリは子供を授けてくれたのですが、「子育て」という大きな仕事も授けてくれたのでした。仕事しながらの子育ては、忙しくて大変でした。でも、毎日が楽しく子供たちは順調に育ちました。

でも、そのうちに子供たちは親をかまってくれなくなります。中学校に入ると、勉強や部活などで忙しく、段々と家族と一緒に過ごす時間が少なくなってきます。私は、子供たちが学校に

と取られているような気がしました。それでもどんな時でも、子供たちにキッスをして学校に送り出していました。

最近<sup>さいきん</sup>は、子供<sup>こども</sup>たちをみて巣立<sup>すだ</sup>ちがちかくな<sup>かん</sup>ったなあ…と感じ<sup>かん</sup>ています。それぞれ自<sup>じ</sup>分の道<sup>みち</sup>を進<sup>すす</sup>み、家<sup>いえ</sup>から巣立<sup>すだ</sup>って行くのでしょ<sup>う</sup>う。そしていつか<sup>あ</sup>いは愛<sup>あい</sup>する人<sup>ひと</sup>に出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>い、子供<sup>こども</sup>を授<sup>さず</sup>かることと思<sup>おも</sup>います。その時<sup>とき</sup>にはまた、あのコウノトリ<sup>あらわ</sup>が現<sup>あらわ</sup>れて、この子<sup>こ</sup>達<sup>たち</sup>に子<sup>こ</sup>育<sup>そだ</sup>てとい<sup>お</sup>う大<sup>お</sup>きな仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>を授<sup>さず</sup>けてくれるのでしょ<sup>う</sup>う。

世<sup>せ</sup>界<sup>かい</sup>には色<sup>いろ</sup>々<sup>いろ</sup>な仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>があ<sup>こ</sup>りま<sup>そ</sup>すが、「子<sup>こ</sup>育<sup>そだ</sup>て」ほ<sup>す</sup>ぼ素<sup>す</sup>晴<sup>ば</sup>らしい仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>はあ<sup>な</sup>りま<sup>ぜ</sup>せん。何<sup>な</sup>故<sup>げ</sup>なら、子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>も親<sup>おや</sup>もそ<sup>ち</sup>して地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>ま<sup>い</sup>でも一<sup>い</sup>っしょに成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>で<sup>こ</sup>き<sup>そ</sup>るから<sup>だ</sup>す。子<sup>こ</sup>育<sup>そだ</sup>ては人<sup>に</sup>間<sup>げん</sup>社<sup>しゃ</sup>会<sup>かい</sup>の「原<sup>げん</sup>点<sup>てん</sup>」だと思<sup>おも</sup>います。

将<sup>しょう</sup>来<sup>らい</sup>は、子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>たち<sup>す</sup>が巣<sup>す</sup>立<sup>だ</sup>ったあ<sup>お</sup>とに「親<sup>おや</sup>鳥<sup>どり</sup>夫<sup>ふう</sup>婦<sup>ふ</sup>」と<sup>こ</sup>して子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>たち<sup>を</sup>、そ<sup>そ</sup>してき<sup>た</sup>んじ<sup>じやう</sup>する孫<sup>まご</sup>たち<sup>を</sup>見<sup>み</sup>守<sup>まも</sup>っていき<sup>い</sup>たいと願<sup>ねが</sup>っています。

あ<sup>あ</sup>の時<sup>とき</sup>の<sup>い</sup>コウノトリ<sup>お</sup>は、き<sup>し</sup>っ<sup>あ</sup>とこ<sup>あ</sup>う言<sup>い</sup>いた<sup>あ</sup>か<sup>あ</sup>った<sup>あ</sup>のだと思<sup>おも</sup>います。「幸<sup>しあ</sup>せの<sup>たまご</sup>卵<sup>あいじやう</sup>を愛<sup>あ</sup>情<sup>じやう</sup>であ<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>め、雛<sup>ひな</sup>たち<sup>す</sup>が巣<sup>す</sup>立<sup>だ</sup>つ<sup>お</sup>ま<sup>あ</sup>で、親<sup>おや</sup>鳥<sup>どり</sup>は役<sup>やく</sup>割<sup>わ</sup>りを果<sup>は</sup>たしな<sup>こ</sup>さい」…と。子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>たち<sup>を</sup>愛<sup>あい</sup>し、平<sup>へ</sup>和<sup>いわ</sup>な家<sup>か</sup>庭<sup>てい</sup>を築<sup>きず</sup>くこと<sup>しゃ</sup>が社<sup>かい</sup>会<sup>ぜんたい</sup>の幸<sup>しあ</sup>せに<sup>か</sup>つ<sup>か</sup>な<sup>か</sup>る<sup>しん</sup>こと<sup>だ</sup>と確<sup>かく</sup>信<sup>しん</sup>して<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。

コウノトリさんありがとう!!!

みなさんご清<sup>せい</sup>聴<sup>ちやう</sup> どうもあ<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>ら<sup>あ</sup>う<sup>あ</sup>ご<sup>あ</sup>ざ<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>した。